

忘れてはいけないこと

読谷中学校 三年 比嘉 美憂

みなさんは沖縄戦のことについて、知っていますか。私は小学生の頃から戦争を体験した人の話を聞いたり、色々な平和学習をしてきました。私達の世代は、戦争を体験していません。だからこそ戦争を体験した人から話などを聞いて沖縄戦のことについて学んでいかなければいけないと思います。

ですが、最近、沖縄戦を体験した方々が減る中、みんなの戦争への自意識が低くなってきていると思います。若者世代の戦争への危機意識が低くなってきているので、これから産まれてくる子どもたちは戦争をまったく知らないまま、学ばないままじゃないかと思いましたが。だから私達のような戦争を知らない世代でも、今から産まれてくる子どもたちにも教えられることはないかと思い、沖縄のことについて詳しく調べてみることにしました。調べてみると、沖縄戦のあまりの残酷さに

言葉を失いました。私は今まで話しか聞いた
ことがなく、図書館にある沖縄戦の写真が載
っている資料を見て、予想していたものとの
違いがありすぎて、思わず目をそむけたくな
るほどのものでした。水を求めて死んでいく
少女、集団自決をした人々、トラックに次々
と積み重ねられていく皆さんの死体。その資料には
読谷村にある防空壕について書いてあり、集
団自決を行ったチビチリがマと、全員が助か
ったシムクがマがありました。私は集団自決
をした人達がどんな気持ちでセクナツていっ
たのか、わかりません。ですが、死にたくて
死んだとは思いません。私かもしチビチリが
マにいたら死にたくない気持ちで一人でも逃
げていくと思います。戦時中の人々は天皇に
命をささげるということを教えられたと聞き
ましたが、私にはそんなことはできません。
こんなことを考えると、今と昔では考え方が
まったく違うと思います。私は、戦時中の
人達の考えには賛成できませんが、昔の人達

は、その人達なりの考えがあると思います。その時は天皇に命をささげると言う考えが当たり前だったのかもしれない。

私の祖母は、私と同じくらいの年の時に戦争を体験しています。私が、今日学校で戦争について平和学習をしたよ。と、言っても、「そうなんだ。」としか言いません。きっと、思いだしたくないんだと思います。私達は写真でしか見たことがありませんが、祖母はその現場を目の前で見たのです。とっても辛い過去だから、その口に出したくないのだと思います。そういうことも感じとり、戦争は絶対、もう二度とやってはいけないと思います。この沖縄戦で、七くなつた人のためにも、戦争をやつてもいいことは何もない、お互いが傷つただけ。それをみんなで意識して次の世代につなげていきたいです。

私は沖縄戦のことについていろいろと勉強してきました。それでも沖縄戦について知らないことは、まだまだたくさんあります。そ

んな私でも一番大事なことはわかっています。
戦争は二度とおきてはならない。決して
あの悲劇を忘れてはいけません。ただそれだけ
です。